

2025 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ANAPホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 川合 林太郎
 (コード：3189・東証スタンダード)
 問合せ先 総務部長 里野 信泰
 電話番号 03-5772-2717

「第 34 回定時株主総会招集ご通知」の一部訂正について

当社「第 34 回定時株主総会招集ご通知」の記載事項の一部に訂正すべき個所がございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正をお知らせいたします。

1. 訂正箇所

- (1) 36 ページ (2) 調達する資金の具体的な使途 ② 短期借入金の返済 (ネットプライス事業再生合同会社)
 (2) 40 ページ <前回の資金調達における資金使途>

2. 訂正内容

訂正箇所は下線 () を付して表示しております。

- (1) 36 ページ (2) 調達する資金の具体的な使途 ② 短期借入金の返済 (ネットプライス事業再生合同会社)
 (訂正前)

<中略>

	変更前	変更後
借入人	株式会社ANAPホールディングス	
貸付金	ネットプライス事業再生合同会社	
借入限度額	金 50 億円	金 110 億円
使途	<u>投資事業資金 (株式会社ANAP ライトニングキャピタルへの転貸 資金)</u>	グループ一般運転資金 (投資事業 資金 (株式会社ANAPライトニ ングキャピタルへの転貸資金) を 含む)
金利	2 % 固定	
契約更新日	2025 年 9 月	
借入開始日	2025 年 7 月	
最終返済期限	2026 年 2 月	

<後略>

(訂正後)
< 中略 >

	変更前	変更後
借入人	株式会社ANAPホールディングス	
貸付金	ネットプライス事業再生合同会社	
借入限度額	金 50 億円	金 110 億円
使途	<u>投資事業資金（株式会社ANAP ライトニングキャピタルへの転貸 資金）（注）</u>	グループ一般運転資金（投資事業 資金（株式会社ANAPライトニ ングキャピタルへの転貸資金）を 含む）
金利	2 % 固定	
契約更新日	2025 年 9 月	
借入開始日	2025 年 7 月	
最終返済期限	2026 年 2 月	

(注) ネットプライス事業再生合同会社からの借入金の使途は、契約上、「投資事業資金（株式会社ANAPライトニングキャピタルへの転貸資金）」となっていました。が、2025 年 7 月 22 日を払込期日とするQL有限責任事業組合及び株式会社 Tiger Japan Investment に対する本普通株式の発行について、出資の履行が完了せず、失権となったことにより、これら 2 社からの借入金合計 4,125 百万円について同日付で返済期限を迎えたため、ネットプライス事業再生合同会社の同意を得たうえで同社からの短期借入金により 2 社への返済を実施しました。

< 後略 >

(2) 40 ページ < 前回の資金調達における資金使途 >

(訂正前)

< 前回の資金調達における資金使途 >

当社が、2025 年 6 月 9 日付の当社取締役会で決議した第三者割当により発行された新株式及び第 7 回新株予約権（以下「前回増資」といいます。）による資金使途への充当状況は、以下のとおりです。

(2025 年 6 月 9 日付取締役会決議に係る第三者割当による新株式発行により調達した資金の充当状況)

A 現物出資

具体的な使途	充当予定額 (百万円)	実際の調達 額 (百万円)	充当額 (百万円)	支出時期
① 現物出資による債務の株式化(DES)(注1)	7,625	3,500	3,500	2025 年 7 月
② ビットコインに対する現物出資 (注2)	7,999	7,999	7,999	2025 年 7 月
合計	15,624	11,499	11,499	

(注) 1. 有利発行によるQL有限責任事業組合及び株式会社 Tiger Japan Investment に対する本普通株式の発行は、当社に対する金銭債権の現物出資による債務の株式化(デット・エクイティ・スワップ)により行われたものでありますが、一部出資の履行が完了せず、失権となりました。

< 後略 >

(訂正後)

< 前回の資金調達における資金使途 >

当社が、2025 年 6 月 9 日付の当社取締役会で決議した第三者割当により発行された新株式及び第 7 回新株予約権（以下「前回増資」といいます。）による資金使途への充当状況は、以下のとおりです。

(2025 年 6 月 9 日付取締役会決議に係る第三者割当による新株式発行により調達した資金の充当状況)

A 現物出資

具体的な使途	充当予定額 (百万円)	実際の調達 額 (百万円)	充当額 (百万円)	支出時期
① 現物出資による債務の株式化(D E S) (注 1)	7,625	3,500	3,500	2025 年 7 月
② ビットコインに対する現物出資 (注 2)	7,999	7,999	7,999	2025 年 7 月
合計	15,624	11,499	11,499	

(注) 1. 有利発行による Q L 有限責任事業組合及び株式会社 Tiger Japan Investment に対する本普通株式の発行は、当社に対する金銭債権の現物出資による債務の株式化 (デット・エクイティ・スワップ) の方法により募集決議が行われたものでありますが、出資の履行が完了せず、失権となりました。

<後略>

以上